

令和6年度 第6回甲斐市総合計画審議会

日 時 令和6年12月11日（水）
14時00分～14時50分
場 所 本館3階大会議室
出席委員 14名／18名
欠席委員 上條委員、遠山委員
及川委員、一條委員

1 開会(事務局)

- ・欠席委員(上條委員、遠山委員、及川委員、一條委員)
- ・代理出席（草野委員→甲府河川国道事務所 有上副所長）
- ・高柳委員より令和6年11月29日付委員辞職の申出、受理

2 第3次甲斐市総合計画 前期基本計画及び総合戦略（案）の諮問

- ・市長から波木井会長に諮問を行った。

3 市長あいさつ

先ほど諮問させていただいたが、市民にとってなじみやすくわかりやすい計画となるよう委員の皆様の知識・経験を活かし審議を賜りたい。

山梨日日新聞にも掲載されたとおり、サンリオのミュージアムが赤坂台に開業する予定である。甲府空襲を経験したこともある創始者の辻信太郎会長が、キティちゃんに口がないのは平和を願う思いが込められているということ saying 言っていた。辻会長の平和への思いを参考にしながら、皆さまに愛されるミュージアムにしていきたい。

4 会長あいさつ

サンリオミュージアム開業予定という大きなニュースに喜んでいる。

世界では政治的な混乱が続いているが、国内においては石破首相の所信表明の中で国全体の活力を取り戻すため、地域の活力を取り戻して地方創生の再起動を強力に進めることや、地方再生に係る交付金を倍増することが表明された。

このことから、地域の知恵と独自性を出すことが今後より必要になると感じている。来年2月の答申に向け活発な議論をお願いしたい。

■公務により市長退席

5 案件

(1) 第3次甲斐市総合計画（案）について

・第3次甲斐市総合計画（案）について事務局より説明

(委員)

26 ページに「やはたいもの生産維持」とあるが、連作障害の問題で農地が見つかりにくいことや生産者の高齢化で栽培面積は減っていく見通しを持っている。それに代わるものとして「ぎゅぎゅっとねぎ」の記載をしてはどうか。

また、甲府第一高等学校の探求科の生徒が甲斐市の棚田で、棚田米を使用した菓子等の PR に取り組んでいる。甲斐市外の学校ではあるが、27 ページに山梨県立農林高等学校の生徒の取組が記載されているため、棚田の取組を記載してはどうか。

茅ヶ岳東部広域農道が2年後に開通すると聞いているが、開通すると交通の利便性が向上しクラインガルテンも賑わうのではないか。このことについて記載をお願いしたい。

(事務局)

ぎゅぎゅっとねぎ及び甲府第一高等学校の取組については検討する。

新山梨環状道路（北部区間）について 67 ページで触れており、88 ページ「都市農村交流の推進」には茅ヶ岳東部広域農道やクラインガルテンの活用について記載している。

(委員)

26 ページの「農業者の経営安定に向けた支援の推進」について、今年から国の指示で5か所を選定した「地域計画」を策定することになっている。地域を区切って、外部の人との貸し借りをスムーズに行うための事業である。「地域計画策定」についての文言を記入してもらいたい。

(事務局)

87 ページ「農地利用の促進」「農林業基盤整備の推進」に記載されている内容に含まれていると考えている。個別計画として今後策定する「地域計画」が記載可能か、所管課にも確認する。

(委員)

地域計画の策定は全国的なものであり、大きな事業でもあるため地域計画という文言があったほうがいい。

(事務局)

地域計画の話は聞いており、内容として包含されている部分もあるが、個別計画に記載できるか協議する。

(委員)

70 ページの空き家の適正管理について、「やまなし県央連携中枢都市圏」で連携し、とあるが、当市のおかれている状態は甲府市など他市とは異なるのではないか。喫緊の課題かという点に疑問に思う。

また、71 ページの「下水道の経営・整備」について、今年度、下水道使用料を 30%値上げし、今後も値上げを予定しているが、釜無川流域下水道に支払う負担金は甲斐市が人口割で一番多く支払っている。経営健全化とは相反するが、山梨県は断水を経験していないためか、使用水量が多い状況であるので、節水意識の向上についても必要ではないかと考えている。

(事務局)

空き家については、「やまなし県央連携中枢都市圏」での共通課題について分科会を作って研究した内容を記載しているのでご理解いただきたい。

また、公営企業部として、事業経営だけではなく、節水の取組の必要性について、担当部署と協議し表現を検討したい。

(委員)

都市部において空き家や空き地といった低未利用地が発生するスポンジ化に対して、国土交通省でも専門者会議を開催し取り組んでいる。

人口が横ばい、または増加傾向にある甲斐市では、甲府市等のスポンジ化に該当する地域とは取組の方向性が異なるのではないかと。

(事務局)

総合計画策定のために実施した市民ワークショップでも、空き家・空き地に関して懸念している意見があったため、取り組む必要があると考えている。甲府市とは傾向が異なる部分はあるが、連携した自治体で共通課題については取り組んでいきたい。

(2) 今後のスケジュールについて
質疑なし。

6 その他

第7回審議会は2月の開催を予定。

ご意見があれば12月27日までに事務局へ連絡していただく。

以上